

グリフィス大学春期海外インターンシップ研修

プログラム区分	語学研修
主幹部署・問合せ先	英語教育専攻
研修先国・都市名	オーストラリア・ブリスベン
研修先	グリフィス大学
プログラム概要	前半 3 週間はグリフィス大学にて外国語教授法を中心に学ぶ語学研修を行い、後半 3 週間は現地の小学校、中学校、高等学校にて日本語授業のティーチングアシスタントを務めるインターンシップを行った。語学研修では英語力の向上だけでなく、後半のインターンシップに必要な外国語教授法を重点的に学ぶ。インターンシップでは、ティーチングアシスタントの業務を通して、現地の学生に英語で日本語を教える。 ホームステイ先ではネイティブスピーカーの方々との生活やコミュニケーションを通して、オーストラリアの文化・生活等について学ぶ。
日程	出発予定時期：2026 年 1 月下旬 帰国予定時期：2026 年 3 月上旬 期間：6 週間
単位認定	海外研修ⅢA（6 単位）
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	有
引率者の有無	有
住形態	ホームステイ
その他	英語教育専攻 1、2 年生（定員に満たない場合、英米語学科を対象に追加募集を行う） 募集説明会実施時期：10 月頃

体験記

グリフィス大学春期海外インターンシップ研修に参加して

氏名：五反 凜音 （2024 年度参加）

2 年次の春休みに英米語学科が主催する、グリフィス大学春期海外インターンシップ研修に参加し、オーストラリアのブリスベン市に 6 週間滞在しました。

前半の 3 週間はグリフィス大学でオーストラリアの文化や、外国語教授法を学び、後半の 3 週間は現地の学校でアシスタントとして日本語の授業をサポートしました。6 週間という短い期間ではありましたが、多くの学びを得られただけでなく、貴重な経験をする事ができたと思います。

前半の 3 週間で日本とは異なるオーストラリアの教育スタイルを知ることができたのは大変有意義でした。さらに、グリフィス大学での研修で学んだことをインターンシップで活かすことができたのは大きな喜びとなりました。

私自身は、後半 3 週間のインターンシップ期間は、州立高校に派遣され、中学 1 年生相当の Year7 のひらがな指導から、高校 3 年生相当の Year12 の面接対策まで、週 15 コマほどの授業に関わりしました。専任教員の補助はもちろん、派遣当初から授業の中心的部分まで任せていただきました。幅広い授業を担当し、教員としての実務を体験できました。非常に忙しい 3 週間でしたが、大きな達成感を得ることができました。

実は、51 年ぶりとなるブリスベンへのサイクロン上陸による、帰国便の欠航というトラブルに見舞われました。予定通り帰国出来ないというトラブルがあったために、かえってホストファミリーや、研修参加者との思い出を深めることができたという側面もあります。試練は、乗り越えられる者にしか与えられないを実感させる経験でした。このグリフィス大学春期海外インターンシップ経験は私の人生のターニングポイントとなると思います。この研修で学んだことや挑戦したことを今後の人生に活かしていきたいと思っています。

